

## 利根郡みなかみ町藤原「宝台樹キャンプ場周辺」の菌類

群馬県野生きのこ同好会 原田 稔、北爪二郎

### 1、はじめに

2009～2015年の7～9月に群馬県北部、利根郡みなかみ町藤原の「宝台樹キャンプ場周辺」で6回実施したきのこ観察会の成果を展示・発表します。

なお、観察会后、観察きのこは一部を県自然史博物館に標本作成・保存いただいた外は、大部分森林に戻しています。

### 2、「宝台樹キャンプ場周辺」きのこ観察の成果

「宝台樹キャンプ場」は標高1152mの宝台樹山の南側標高約1020mの南西向緩斜面にあり、宝台樹山頂から東に延びる峰の北側に宝台樹スキー場が隣接しています。

観察会を実施したキャンプ場周辺は、胸高直径20～30cmのカラマツ人工林がキャンプ場入口手前の道路沿いに散見される外は、ミズナラ・シラカンバ・トチノキ等落葉広葉樹林が広がっていますが、老木や枯倒木はほとんど見られません。

観察会には延べ178名が参加し、16～30科(39～71種)が観察されました。

各回の観察会について重複種を整理し、51科(204種)が確認されました。担子菌が44科(196種)、子のう菌が7科(8種)で全種数の96%が担子菌でした。

- ① 2009年(平成21)9月27日 : 26科54種 (参加者32名)
- ② 2010年( " 22)8月29日 : 30科69種 ( " 23名)
- ③ 2010年( " 22)9月12日 : 24科45種 ( " 24名)
- ④ 2011年( " 23)8月28日 : 28科68種 ( " 27名)
- ⑤ 2013年( " 25)7月28日 : 26科71種 ( " 32名)
- ⑥ 2015年( " 27)7月26日 : 16科39種 ( " 40名)

### 3、「宝台樹キャンプ場周辺」きのこ観察成果を「科」分類から見る。

(1) 5科(全科数51科の10%)で10種以上が観察され、5科の合計種数99種は全種数204種の48.5%を占めています。

イグチ科(31種)                      テングタケ科(24種)                      ベニタケ科(20種)  
タマチョレイタケ科(13種)                      キシメジ科(11種)

(2) 上記の外、2科で6種、4科で5種が観察されました。6科の合計種数は32種。

モエギタケ科(6種)                      ツキヨタケ科(5種)                      ラッパタケ科(5種)  
フウセンタケ科(6種)                      アセタケ科(5種)                      ツガサルノコシカケ科(5種)

(3) 6回の観察会で20種以上観察した3科(イグチ、テングタケ、ベニタケ)について、7～9月観察月日別に観察種数及び全観察種に各3科が占める比率を見ると、

- ①イグチ科：7・8月（4回）は9月（2回）に比べ観察種数が多く、全観察種に占める比率も高い（6～21種、9～30%）。（9月の種数は0種・3種、比率は0%・6%）
- ②テングタケ科：7・8月（4回）及び9月12日は、9月27日に比べ観察種数が多く、全観察種に占める比率も高い（7～12種、14～18%）。（9月27日の種数は4種、比率は7%）
- ③ベニタケ科：7～9月（6回）の観察種数、同比率に差異・傾向は認められなかった。

#### 4、「宝台樹キャンプ場周辺」きのこ観察成果を、観察頻度の高かった「種」から見る。

##### （1）6回の観察会で5回観察は次の5種（4科、1種は所属科未確定）

ヒロヒダタケ（ポロテレウム科）、 オオキヌハダトマヤタケ（アセタケ科）  
 カバイロツルタケ（テングタケ科）、カワラタケ（タマチョレイタケ科）  
 オシロイタケ（所属科未確定）

##### （2）6回の観察会で4回観察は次の13種（10科）

タマゴテングタケモドキ・ ツルタケ ・ ドクツルタケ （左記3種はテングタケ科）  
 カイメンタケ ・ シロカイメンタケ （左記2種はツガサルノコシカケ科）  
 タケリタケ （ボタンタケ科）、 ミネシメジ （キシメジ科）  
 クサウラベニタケ （イッポンシメジ科）、 ハナホウキタケ （ラップタケ科）  
 オオコゲチャイグチ（イグチ科）、 チチタケ （ベニタケ科）  
 ツリガネタケ（タマチョレイタケ科） サジタケ （タバコウロコタケ科）

##### （3）6回の観察会で3回観察は次の18種（10科）

フクロツルタケ・タマゴタケ・ガンタケ・ヒメベニテングタケ（左記4種テングタケ科）  
 コガネヤマドリ ・ キアミアシイグチ ・ オニイグチモドキ （左記3種イグチ科）  
 アイバシロハツ ・ カワリハツ ・ アイタケ （左記3種ベニタケ科）  
 カイガラタケ ・ アシグロタケ （左記2種タマチョレイタケ科）  
 ツチクラゲ（ツチクラゲ科）、 ウスヒラタケ（ヒラタケ科）、 カヤタケ（キシメジ科）  
 モリノカレバタケ（ツキヨタケ科）、 ハナビラニカワタケ（シロキクラゲ科）  
 ムラサキアブラシメジモドキ（フウセンタケ科）

#### 5、今後の観察に向けて

観察頻度が高かった、カバイロツルタケ・ツルタケ・タマゴタケ（テングタケ科）は菌根を作る種です。同様に、チチタケ、アイバシロハツ・カワリハツ・アイタケ（ベニタケ科）、キアミアシイグチ（イグチ科キアミアシイグチ属）は外生菌根を作ります。今後、観察頻度の高かった木材腐朽菌も含め、森林植生と菌類の関係を探りたい。

（参考文献）①「増補改訂新版 山溪カラー名鑑 日本のきのこ」2012.6.15 株式会社山と溪谷社刊

②「日本産菌類集覧」勝本 謙 著 2010.5.29 日本菌学会関東支部刊

（キーワード）：利根郡みなかみ町藤原「宝台樹」、野生きのこの分布・発生）